

中国の記事から（畜産）

2006年10月31日号

目次

◎農産物品質安全法を11月から施行

【経済日報 2006年10月23日】

◎蒙牛乳業、国際酪農連盟「新製品開発賞」を受賞

【経済日報 2006年10月24日】

◎農産物品質安全法を11月から施行

【経済日報 2006年10月23日】

農業部の牛盾・副部長は22日、「中国農産物品質安全法」が11月1日から施行されると発表した。施行後、野菜生産地の監督・管理、クレンブテロールの違法使用、獣薬使用状況の検査などを強化していく。農業部は今後5年以内に農産物品質の安全検査体系を構築していく計画。1988年、1991年、1998年、2002年、2005年の5回にわたって、全国で国家クラスの農産物品質検査機関12カ所、省クラス農産物品質検査機関311カ所を設立している。農業部が行った2006年第4回農産物品質検査によると、全国37都市の野菜農薬残留検査の平均合格率は93.7%、22都市における畜産物のクレンブテロール検査合格率は98.3%、8都市での水産物のクロラムフェニコール残留検査合格率は98.7%となっている。

◎蒙牛乳業、国際酪農連盟「新製品開発賞」を受賞

【経済日報 2006年10月24日】

乳業大手・内モンゴル自治区の蒙牛乳業股分有限公司(蒙牛乳業)は22日、国際酪農連盟(IDF:International Dairy Federation)の「新製品開発賞」を受賞した。中国企業が同賞を受賞するのは初めて(中国乳製品工業協会の宋昆岡・理事長)。蒙牛乳業は高級乳牛を導入し、乳製品原料の品質向上に努めている。2005年には国家公衆栄養・発展センター、北京大学医学院が共同開発したOMP(Osteoblasts Milk Protein)技術を利用し、独自の知的財産権を持つ高級乳製品「OMP特命蘇牛乳」を開発、発売し高い評価を得ている。

本情報は、株式会社日本能率協会総合研究所により
翻訳された中国の新聞記事をもとに、同社の許可を得て
独立行政法人農畜産業振興機構が整理したものです。